

PROGRAM NOTE

2024年12月

「第4回山陰BCLの集い in 米子」参加記 岡山 植村昭男



2024年11月2日(土)、鳥取県米子市で開催された山陰BCLの集い in 米子に参加してきました。集いは山陰放送の訪問からスタートです。鳥取、島根両県がエリアのラジオ山陰として1954年3月1日に開局、今年で70周年を迎えました。まずは1階のラジオスタジオへ。ちょうど森谷佳奈アナが開局当時から続く音楽リクエスト番組「音楽の風車」を生放送しているところで、主調整室から暫し見学。森谷アナは第59回ギャラクシー賞を受賞、今や全国区の人気となった「森谷佳奈のはきださNIGHT!」など多くの番組に出演しています。

2階会議室に移り、局紹介や番組制作についてお話を伺っていると、「ビタミン!Saturday」など多くのラジオ番組や全国ネットのTV番組で活躍している中島早也佳アナがサプライズ登場、番組テーマ曲「赤いマフラー」のSPレコードを蓄音機で再生し、それに合わせ「音楽の風車」も担当している中島アナが番組そのままにナレーションを生で披露くださるという感涙ものサービスがありました。この貴重な蓄音機は全く電気を使わず、ハンドルを手回しゼンマイを巻いた力が動力源となっています。鉄製の針を盤面にそっと落とし、メガホンの原理で増幅されたSPレコードの再生音は大変艶やかで感動しました。



次は2010年6月1日開局のCFM局・DARAZ FMの見学です。富田寛社長から局紹介、CFM局運営の苦労など興味深いお話があり、局名に使われている「DARAZ(だらズ)」は元々「愚か」を意味する米子の方言で、米子人の先進的な気質も表しているそうです。以前、銀行だった建物を改装している局舎は金庫室が当時のまま残っていて、「金魚鉢」と呼ばれているガラス張りのスタジオも見学させていただきました。

最後は集いメイン会場・米子ワシントンホテルプラザに移動しての講演&懇親会です。HCJB中四国集いにいつも参加くださる小川竜也さんの講演「My BCL Life」では、中波ラジオで聴いた北京放送やモスクワ放送、ナショナル製の短波も聴けるラジカセRQ-554、山田耕嗣さん監修の入門BCLブック昭和53年版など、小川さんのBCLの原点となった数々の偶然の出会いを表した「人生は偶然の連続、縁」というお言葉にとても共感させられました。山陰放送訪問でお世話になった技術管理部・大村陽一さんの講演「私とラジオ」では、子供の頃、真空管式ラジオのマジックアイに魅せられたことから始まったラジオライフ、そして人気ラジオ番組「森谷佳奈のはきださNIGHT!」担当ディレクターでもある大村さんならではの貴重な放送裏話を伺うことができました。「ラジオ番組の中身を楽しんでほしい。ネットの力を活用しつつ、ラジオというものを残していく」を残していく大村さんのお言葉は、まさに今後、ラジオが進む方向性を表しているように感じました。山陰放送見学時に聴かせていただいた蓄音機も修理再生した大村さんは、技術者として自局のみならず熊本放送やCFM局など他局のラジオ送信機も設計製作するなどラジオ送信技術発展に貢献したことから2019年日本民間放送連盟賞技術部門を受賞、また番組制作者としても人気ラジオ番組を担当と、放送業界で幅広く活躍されています。



今回で4回目となった山陰BCLの集いは放送局見学というこれまでにない新たな趣向も加わり、大変充実した内容でした。山陰放送の人気アナウンサー森谷佳奈さん、中島早也佳さんにお会いできたことも嬉しかったです。この集い以降、米子市、山陰地方、そして貴重な体験をさせていただいた山陰放送やDARAZ FM局などをとても身近に感じるようになりました。集いでお世話になった皆様に心より御礼申し上げます。

サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
12月7日	赤道に降りた宇宙飛行士 (4)	12月8日	お便り交換の時間
12月14日	続アメリカ新発見の旅	12月15日	クリスマス特集番組 (1)
12月21日	マリンバの調べ	12月22日	クリスマス特集番組 (2)
12月28日	いよ子さんのサボテン日記	12月29日	年末特集番組

バイブル・トーク

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyond.chowder.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 17650kHz (再放送) 午後8時～8時30分 11905kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

